

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)の認定内容

①学校名:	筑波技術	大学(国立)	②所在地:	茨城県つくば市天久保4-3-15	
③課程名:	聴覚障害者のための協働・ビジネススキル向上プログラム				
④正規課程/ 履修証明プログラム:	履修証明プログラム(短時間)	⑤定員:	100人	⑥期間:	1年間
⑦責任者:	産業技術学部 総合デザイン学科 教授 河野純大		⑧開設年月日:	令和8年4月1日	
⑨申請する課程 の目的・概要:	聴覚に障害を持つ社会人は、情報保障の整備された環境で学べる機会が少ないことから、スキルアップやキャリアアップがしにくい現状にある。加えて、周囲の健聴者との協働についても、自身の障害を周囲に説明し、必要な支援を得るスキルなどが求められる。そこで、早期就職をした社会人や、学び直しを求める聴覚に障害のある社会人に対し、本プログラムを開講することで、協働するスキルやビジネススキルを向上させることを目的とする。本プログラムはDE&I科目、ビジネススキル科目、DX専門科目から構成される。				
⑩10テーマへの 該当	1 女性活躍	3 中小企業活性化	5 環境保全	7 医療介護	9 起業
	2 地方創生	4 DX ○	6 就労支援 ○	8 ビジネス等 ○	10 防災危機管理
⑪履修資格:	学校教育法第90条に規定する大学に入学することができる者 聴覚に障害を持つ社会人				
⑫対象とする職業 の種類:	事務職、IT関連職、教育・研究職等				
⑬身に付けること のできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・聴者・聴覚障害者が協働するためのインクルーシブな考え方 ・より能力を発揮するためのビジネススキル ・DXなどの専門的スキル				
	(得られる能力) ・より主体性を持って社会参加・就業ができる能力 ・キャリアアップやスキルアップを達成する能力				
⑭教育課程:	自己肯定感とセルフアドボカシーや情報保障システム活用演習、合理的配慮の理解と実践の講義で、改めて聴覚障害を持つ自身の特性を見つめ直し自己理解を深めた上で、聴者と協働するための工夫を学び、よりよい就業環境について考える。(DE&I科目) 社会人としてのマインドセットのような自己研鑽だけでなく、ビジネスマネジメントや個を尊重するチームビルディングなどの講義で、他者へ働きかけるスキルも磨く。(ビジネススキル科目) デジタル時代のリテラシーやデータサイエンスなどの講義で、専門的なDXスキルを磨く。(DX専門科目)				
⑮修了要件(修了 授業時数等):	60時間のリアルタイム受講またはオンデマンド受講に加えて、レポート課題等の提出				
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	履修証明書				
⑰総授業時数:	60	時間	⑱要件該当 授業時数:	60	時間
			⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	100	%
⑳該当要件	企業等	○	双方向	○	実務家
				○	実地

⑳成績評価の方法:	講義への出席状況、アーカイブ視聴後のレポート提出の有無、プレゼンテーションの内容などを総合的に判断して成績評価を行う。
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。「プログラム実施委員会」において、本プログラムの成果の検証や評価を行う。また、当該検証・評価結果については、本事業ホームページにおいて公表する。
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対し、事後アンケート調査を実施する。
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 聴覚に障害のある社会人の就労支援や企業内で定着支援などに従事している機関や企業の担当者、聴覚に障害のある社会人の就労に関する諸問題に精通している有識者からなる「プログラム実施委員会」において、教育課程の編成を実施する。□
	(自己点検・評価) 聴覚に障害のある社会人の就労支援や企業内で定着支援などに従事している機関や企業の担当者、聴覚に障害のある社会人の就労に関する諸問題に精通している有識者からなる「プログラム実施委員会」において、プログラムの実施結果に関する点検・評価を実施する。
㉔社会人が受講しやすい工夫:	聴覚障害に関する情報保障の完備。手話通訳、文字通訳。夜間、土日開講。オンライン受講。アーカイブ配信。
㉕ホームページ:	https://tsukutech-social.net/site/